



79年から22年間続いた朝のワイドショー「ルックルックこんにちは」(日本テレビ)。「突撃隣の晩ごはん」「ドキユメント・女ののど自慢」などの名物コーナーが懐かしい。そこで沢田亜矢子、岸部シロー、松永三男アナと司会は代われど、最後までリポーターを続けた女性がいいた。井波ゆき子さんだ。今どうしているのか。

「ルックルック こんにちは」のリポーターだった **井波ゆき子さん**

「産業カウンセラー」として活躍した井波ゆき子さんは「肩書を持ち、帝京大学で講義する一方、講演、専門誌への寄稿と大忙し



「おかげさまで教えきれ ビューもずいぶんやらせた。かつて「ミス鎌倉静ないほど大勢の方たちとていただいたし。ワタ 御前コンテスト」で優勝お会いしてきたわ。ひばシ、昔っから友達に悩みした経歴の持ち主でありさんや裕次郎さんとか 相談を持ちかけられるタる。大物芸能人の独占インタビューで、話を聞くのが好 「水着審査がなかった頃

きな。だから、リポーターにも向いていたんでしょね」 JR品川駅近くのカフェで待ち合わせた井波さん、エンジ色のパンツスーツに同色のカラーをキユツと締め、颯爽と現れ



四一家を幸本松一郎直撃

の話です、ハハハ。あれからウン十年、ホント、トシには勝てないけど、実は今、カウンセラーとして活動してるの。コミユニケーションやメンタルヘルスについて帝京大学で講義したり、地方に講演に行ったり、専門誌に原稿書いたり、けっこう忙しいわ」 井波さんはOLをしなから東京アナウンスアカ

デミーに通い、卒業と同じに組み込まれ、そのまま深いというか、本格的に時に「竹村健一の世相講 」「ルックルックー」のいろんな方の心の支援を談」（日テレ）のアシス リポーターになった。 する仕事をしたいなっタントに。そして、同番組 「ルックルックー」 て。アラフォーを過ぎては79年から始まった「ル が終わつたのを機に、イ からの勉強は大変でしたツクルックこんにちは」 ンタビューよりもっと けど」

「93歳の認知症の母の介護で手いっぱい。別居婚だったらいいかな、なんて夢は持ってるのよ」

名刺には「日本産業力 中高齢者の心の内を開い 織り交ぜながら、わかりウンセラー協会認定・産 てあげて、良い方向を示 やすく、幅広く聞くこと業力ウンセラー」「キャ してあげるのがキャリア ができました。ってたくリアカウンセラー」「日 カウンセラーね」 さんの方から感想が寄せ本産業力ウンセリング学 去年11月には岐阜県精 られ、これからの活動の神保健福祉協会主催の 励みになりました」

「職場や組織の中で心の 不調を抱えた人を手助け 「このころの健康フェステ 品川区内のマンシヨンイバル」で講演した。 に暮らす。

「当日は一般の方から精 「ずっとひとりやって するのが産業力ウンセラ 神障害者、行政担当者、 きちゃった。今は93歳の 1。職場内のイジメや人 医師、看護師、ボランテ 認知症の母の介護で手い 間関係で悩んでうつにな りアと年齢も職業もさま っぱい。でも、別居婚だ るケースがよくあるの。 さまな430人の来場者 ったらいかな、なんて 一方、職に就けないこと がありましてね。講演の 夢は持ってるのよ」 で病みがちな若者や、体 後、精神障害という難 近々、HPを立ち上げ 力、気力の低下によって 生じる人生の午後への不 しい題材を楽しい内容を る予定だ。

安からくじけそうになる